



温故知新



STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン

趣旨

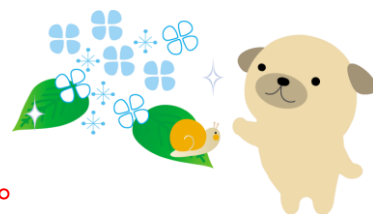


熱中症については、第12次労働災害防止計画(以下「12次防」という。)において、重点とする健康確保・職業性疾病対策の一つとしてあげられており、平成20年から24年までの5年間と比較して、平成25年から平成29年までの5年間の職場での熱中症による休業4日以上、死亡者の数(各期間中(5年間)の合計値)を20%以上減少させる、との目標が設定されている。これまで、平成21年6月19日付け基発第0619001号「職場における熱中症の予防について」に基づく対策をはじめとして、毎年、重点事項を示して、その予防対策に取り組んできたところであるが、12次防期間中の発生件数は、平成29年1月現在の速報値で、平成20年から24年までの5年間の発生件数の95%に達し、あと1年を残して、12次防期間中の目標件数を上回り、また、80名を超える労働者が死亡している状況にある。このため、熱中症による死亡災害ゼロを目指し、12次防の最終年となる平成29年の下記期間において、事業場における責任体制の確立を含めた熱中症予防対策の徹底を図ることを目的とし、本キャンペーンを展開することにより、重点的な取組を推進し、今後の効果的な対策の推進の端緒とする。

期間

平成29年5月1日から9月30日までとする。

7月を熱中症予防強化月間重点取組期間とする。



【今号の主な内容】

- P① 熱中症キャンペーン
- P② 熱中症症例
- P③ 熱中症対処法
- P④ 安全大会のお知らせ



発行

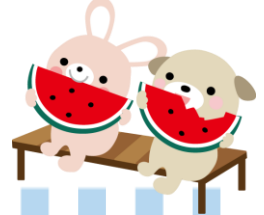
野田工業 株式会社
東京都中央区銀座6-6-19
TEL : 03-3572-1866
FAX : 03-3575-0420



【 安全大会のお知らせ 】

- ★日時 平成29年7月8日(土)
- ★集合時間 14:30～
- ★開始時間 15:00～
- ★会場 品川プリンスホテル

今年も安全大会が開催されることとなりました！
関係者の皆様、ご多忙のところ大変恐縮ですが、ご出席下さいますようお願い申し上げます。



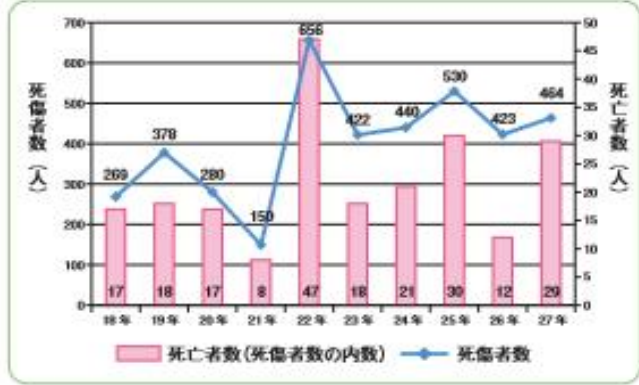
【 職長会のお知らせ 】

- ★日時 平成29年8月21日(月)
- ★時間 18時00分～
- ★会場 銀座ユニーク 3階



職場における 熱中症による死傷者数の推移

職場における熱中症による死傷者数は、平成22年に記録的な猛暑により最多となり、その後も、400人～500人台で推移し、高止まりの状態にあります。



**熱中症は、さまざまな業種、
さまざまな状況で発生します**



運動時のガイドライン (公財)日本体育協会 熱中症予防のための運動指針	WBGT (°C)	生活時のガイドライン 日本生気象学会 日常生活における熱中症予防指針
運動は原則中止	31	危険
厳重警戒 (激しい運動は中止)	31以上 30	厳重警戒
警戒 (積極的に休息)	28~31 28	警戒
注意 (積極的に水分補給)	25~28 25	注意
ほぼ安全 (適宜水分補給)	21~25 21	
	21未満 20	

※ここでの28～31℃は、28℃以上31℃未満の意味

WBGT計を活用しよう！

気温はさほど高くなくても、湿度が高い時には熱中症にかかる危険度が高まります。熱中症は、気温・湿度・風速・輻射熱が複雑に影響し合って起こります。

熱中症対策の指標として、WBGT計を活用しましょう。WBGT(湿球黒球温度)で示される暑さ指数の単位は、気温と同じ摂氏度(°C)ですが、その値は気温とは異なります。



「熱中症かな？」と思ったら

次の症状が見られたら、すぐに医療機関を受診させましょう。

体温が38度以上ありそうな場合

尿がしばらく出ていない場合

1分間の心拍数が100以上ある場合

言動や意識がおかしい
(意識障害がある)場合

工具を落とす、転倒するなどの症状がある場合

熱中症の救急処置 (現場での応急処置)

・めまい、失神、立ちくらみ
・こむら返り・大量の発汗
・体がぐったりする

熱中症を疑う症状はありますか？

有

意識はありますか？

意識がない、呼びかけに反応しない、返事がおかしい、全身が痛い、など

救急隊を要請してください

意識は清明である

涼しい環境へ避難してください

脱衣・冷却してください

涼しい環境へ避難してください

脱衣・冷却してください

水分を自力で摂取できますか？

自力で摂取できない

自力で摂取できる

水分・塩分を摂取させてください

医療機関へ搬送してください

回復しましたか？

回復しない



救急隊を待つ間…

- 体表面を露出させ、うちわなどで冷風を送りましょう。
- 仰向けか横向きに寝かせ、足を上げて、頸部、わきの下、太ももの付け根などの大きな動静脈が通っている部位を冷却剤などで冷やしましょう。
- 手足を末梢から中心部に向けてマッサージしましょう。

